

めぐみの学校の子ども

恵田小

校長室だより

令和元年七月十九日

No. 133

めぐみの和

1・2年生が植えた里芋の葉がずいぶん大きくなった。ここ数年、高温と雨が少ないことから、育ちが悪かったさつまいもは順調に育つのをのびしている。ぶどうやキウイも今のところよい。日照不足のため、もち米の生育については少し心配している。夏休み明けからの秋の実り＝めぐみを期待しているところだ。



袋がけをしたぶどう

今年、学校運営のテーマを「めぐみの和」とした。行事などでは、このテーマを意識した活動が展開された。運動会の学区種目や学区のソフトミニバレーでも「めぐみの和」を意識してくださり、まさに「めぐみの和」が広がりつつあり、うれしい。

恵田っ子、保護者、学区の「和」を考えたとき、いちばん大切なのは恵田っ子一人一人である。その一人一人が学校で、家庭で、そして、地域でよいかかわりをもつことが大切で、一人も欠かすことができない。きのうまで全68日の授業日数のうち、実に、53日全校児童がそろった。2年生は、きのうまで一人も休むことがなかった。今日は全校児童がそろい、2年生が1学期皆勤を達成できているとよいが……。

1学期の成果をもとに、2学期も「めぐみの和」が深まるよう、強くなるよう、一日一日を送りたい。夏休み、ゆったりとしながらも、充実した一日一日にし、2学期はじめ、恵田っ子が元気でみんながそろってスタートできることを期待している。

恵田っ子へ

「めぐみの和（わ）」をつなぐ

今年（ことし）のテーマ「めぐみの和」をめあてに1学期（いちがっき）をすごすことができましたね。よい1学期になりました。1年生（いちねんせい）はすっかり恵田っ子になりました。まさに「和（恵田っ子にくだわる）」でした。恵田小を新（あた）らしくしました。

いろいろな行事（ぎょうじ）で「めぐみの和」を意識（いしき）してすごしてくれました。代表委員（だいたいひょういんかい）による「和」を意識したあいさつ運動（うんどう）もよかったです。運動会（かい）では、学区（がく）が、おうちの方（かた）とも仲良（なかよ）くなり、「和」が深（ふか）まりました。「和」が深まることは、恵田っ子一人一人（ひとりひとり）の成長（せいちょう）あってこそです。夏休（なつやす）みは、「めぐみの和」、とくに家族（かぞく）の「和」を意識してすごしてほしいです。1学期の自分（じぶん）と夏休みの自分をあわせて（「和」）、さらに成長した自分で2学期（にがっき）をスタートできるようにしましょう。よい夏休みにし、2学期につなぎましょう。

選句結果（せんくけつ）は「せんくけつ」は「はつきの紙（かみ）」です。